

ドイツでは、インクルーシブな社会形成に向けた取り組みが進むとともに、シリア難民の大量流入などの大きな社会変動が続き、教育や地域スポーツの取り組みも大きな変化を迫られてきた。本書は、「多様性(ダイバーシティ)へのドイツ社会の対応」という視点から、ドイツ・ベルリン市州とニーダーザクセン州を中心に教育と地域の余暇・スポーツの取り組みについて紹介するものである。

ドイツのインクルーシブ教育と余暇・スポーツについて書いた前著「障害児者の教育と余暇・スポーツ-ドイツの実践に学ぶインクルージョンと地域形成-(2012)」から7年。その後の動向を中心に現地の情報と取り組みを伝える。

安井友康／千賀 愛／山本理人〈著〉

●本体価格 2,700円＋税／A5判／並製／256頁

内容構成

はじめに

第1部 ベルリン編

——新しい学習指導要領の導入とインクルーシブ教育の深化

- 第1章 ドイツのベルリン市州におけるインクルーシブ教育
- 第2章 フレーミング基礎学校におけるインクルーシブ教育の授業づくり
- 第3章 フレーミング基礎学校におけるインクルーシブなスポーツ授業
- 第4章 視覚障害特別支援学校と地域スポーツクラブとの連携

第2部 ニーダーザクセン編

——インクルージョン時代に合わせた地方の学校と地域の変革

- 第5章 インクルーシブ教育の推進と特別支援学校のセンター的機能の拡大
- 第6章 地方都市ゼルジンゲン基礎学校におけるスポーツ活動——多様なニーズへの対応と学校づくり
- 第7章 リンデン特殊学校とローテンブルガー・ヴェルケ——学校と地域の余暇・スポーツ連携
- 第8章 「森の幼稚園」における教師と子どもたちの関わり——「自己形成空間」という視点から
- 第9章 ドイツにおける学校教員のキャリア形成

第3部 ドイツにおける本人主体の余暇支援とスポーツ

- 第10章 障害者のスポーツ参加動向と支援環境——アスリート支援と地域スポーツ
- 第11章 ドナースマークによる余暇支援プログラム——ガーデニングと旅行支援
- 第12章 地方小規模集落におけるスポーツクラブ——クラインメッケルゼン村のクラブづくり

おわりに

著者紹介

- 安井友康(やすい・ともやす) 北海道教育大学札幌校教授
国際アダプテッド身体活動学会(IFAPA)アジア地区代表役員
- 千賀 愛(せんが・あい) 北海道教育大学札幌校准教授
- 山本理人(やまもと・りひと) 北海道教育大学岩見沢校教授／日本体育科教育学会理事

2019年
10月刊行

明石書店 TEL.03-5818-1171
FAX.03-5818-1174

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5
図書目録送呈 <http://www.akashi.co.jp/>

ご注文方法

- ◎最寄りの書店へ、このチラシをご持参の上、ご注文ください。
- ◎直送ご希望の方は、電話またはFAXで弊社へお申し込みください。
代金引き替え郵便でお送りします。代金は配達の方にお支払いください。
書籍代(本体価格＋消費税)に加え、送料として一律300円かかります。

番線印

ドイツのインクルーシブ教育と障害児者の余暇・スポーツ
移民・難民を含む多様性に対する学校と地域の挑戦

安井友康／千賀 愛／山本理人[著]

◎定価：本体2,700円＋税

フリガナ
お名前

TEL

ご住所 〒

(アパート・マンション名・部屋番号)

冊

明石書店

TEL 03-5818-1171
FAX 03-5818-1174